



令和5年8月3日

主催：東京湾再生推進会議モニタリング分科会
九都縣市首脳会議環境問題対策委員会水質改善専門部会
東京湾岸自治体環境保全会議
東京湾再生官民連携フォーラム東京湾環境モニタリングの推進プロジェクトチーム
後援：一般社団法人 日本経済団体連合会

東京湾環境一斉調査を実施します (東京湾における流域及び海域の環境一斉調査) ～参加機関等のお知らせ～

令和5年度の東京湾環境一斉調査には、企業や市民団体を含む、合計120機関から参加表明をいただきました。(8月1日集計時点)

参加機関一覧は別紙1、生物調査一覧は別紙2、環境啓発活動等のイベント一覧は別紙3をご覧ください。

参加機関の皆様は、調査日の気象・海象状況に応じて安全な行動をお願いいたします。詳細な実施方法等につきましては、お申込みいただいた窓口からご連絡いたします。

1 水質調査

- ・実施基準日 令和5年8月9日(水)
予備日 令和5年8月16日(水)
- ・調査内容 東京湾の海域又は流域河川において、次の項目等の調査を実施
【海域】水温、塩分、溶存酸素量(DO)、化学的酸素要求量(COD)、透明度
【陸域】水温、流量、溶存酸素量(DO)、化学的酸素要求量(COD)、透視度
- ・参加機関数 118機関

2 生物調査

- ・実施期間 令和5年7月から9月
- ・調査内容 東京湾の底生生物、カニ、魚類等の調査を実施
- ・参加機関数 11機関

3 環境啓発活動等のイベントの実施

- ・実施期間 令和5年7月から10月
- ・活動内容 水質改善等に関する普及啓発活動を含むイベントを実施
- ・参加機関数 11機関

なお、実施時期の前後に実施される調査についても対象とします。

4 結果の公表

東京湾環境一斉調査の結果については、令和6年3月中を目途に下記ウェブサイトにて報告書を掲載する予定です。過去の調査結果についても同ウェブサイトでご覧いただけます。

https://www.env.go.jp/water/heisa/tokyo_wqs.html

問い合わせ先

東京湾再生推進会議モニタリング分科会事務局
環境省水・大気環境局海洋環境課海域環境管理室
加藤 03-5521-8319

- 東京湾環境一斉調査日の潮汐推算について、下記ウェブサイトでご確認いただけます。ぜひご参照ください。

https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TIDE/tide_pred/5.htm

参考 「東京湾再生推進会議」

平成 13 年 12 月に都市再生本部の都市再生プロジェクト（第三次決定）として、水質汚濁が慢性化している大都市圏の「海の再生」を図ることとされたことを受け、平成 14 年 2 月に関係省庁及び関係地方公共団体を構成員として設置された。これまで、平成 15 年から平成 25 年まで、平成 25 年から令和 5 年までをそれぞれ計画期間とする「東京湾再生のための行動計画」を策定し、二期にわたって取組を進めてきた。また、令和 5 年からの「東京湾再生のための行動計画（第三期）」を策定し、引き続き取組を進めている。

なお、推進会議の下部機関として「陸域対策分科会」、「海域対策分科会」、「モニタリング分科会」が設けられている。

「九都県市首脳会議環境問題対策委員会水質改善専門部会」

平成元年 6 月の「首都圏環境宣言」を踏まえ、九都県市※（東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市）が協調して取り組むべき方策を検討するため、平成元年 11 月に環境問題対策委員会のもとに設置された。東京湾の水質改善に係る下水道の整備、富栄養化対策等に関する事項の調査、検討、情報交換等を行っている。

※ 平成元年当時は六都県市（東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県・横浜市・川崎市）

「東京湾岸自治体環境保全会議」

昭和 48 年 6 月に開催された「東京湾を囲む都市の公害対策会議」において東京湾の環境保全と広域的対策を図るための早急な機構整備の必要性が提案されたことを機に、昭和 50 年 8 月に設立された。東京湾岸に面する 1 都 2 県 16 市 1 町 6 特別区の 26 自治体で構成され、住民への環境保全に係る啓発や、連带的・統一的な環境行政の推進を目的に湾岸地域の環境保全に取り組んでいる。

「東京湾再生官民連携フォーラム」

「東京湾再生のための行動計画（第二期）」では、多様な関係者の参画による議論や行動の活発化・多様化を図るための組織の設立が掲げられた。このことから、平成 25 年 11 月に「東京湾再生官民連携フォーラム（以下「フォーラム」という）」が設立された。

フォーラムでは、東京湾再生に意欲を持つ多様な人々が集い、現状や課題を理解・共有し、共に解決策を模索し、東京湾の魅力を発掘・創出・発信すること等により、東京湾再生の輪を拡げる活動に取り組むこと、そうした活動から育成・醸成された多様な関係者の多様な意見を尊重しつつ総意をとりまとめ、「東京湾再生推進会議」へ提案する役割が期待されている。

令和 5 年度 参加機関一覧 (五十音順・8月1日現在)

●印：水質調査を実施する機関

◆印：生物調査を実施する機関

★印：環境啓発活動等のイベントを実施する、あるいはイベントに参加する機関

<企業など：67社>

(内訳：水質調査 67社 生物調査 1社 環境啓発イベント 7社)

- ・ AGC 株式会社
AGC 横浜テクニカルセンター●
- ・ ENEOS 株式会社 根岸製油所●
- ・ ENEOS 株式会社 川崎製油所●
- ・ JFE 鋼板株式会社 東日本製造所●
- ・ JFE スチール株式会社
東日本製鉄所 (京浜地区) ●
- ・ JFE スチール株式会社
東日本製鉄所 (千葉地区) ●
- ・ 曙ブレーキ岩槻製造株式会社●
- ・ 旭化成株式会社製造統括本部
川崎製造所●★
- ・ 味の素株式会社 川崎事業所●
- ・ アルバック成膜株式会社●
- ・ 一般社団法人埼玉県環境計量協議会●
- ・ エア・ウォーター・
パフォーマンスケミカル株式会社●
- ・ 株式会社 ENEOS NUC 川崎工業所●
- ・ 株式会社キミカ●
- ・ 株式会社セルコ
(調布市多摩川自然情報館) ●★
- ・ 株式会社東芝 横浜事業所●
- ・ 株式会社日本触媒
川崎製造所浮島工場●★
- ・ 株式会社日本触媒
川崎製造所千鳥工場●★
- ・ 株式会社フィスコ、東京海洋大学海洋
研究会●
- ・ 株式会社 プロテリアル●
- ・ 株式会社 横浜八景島●◆
- ・ 株式会社レゾナック 基礎化学品事業部
川崎事業所●
- ・ 株式会社レゾナック 秩父事業所●
- ・ 株式会社レゾナック 横浜事業所●
- ・ 株式会社ロッテ 浦和工場●
- ・ 川口薬品株式会社 浦和事業所●
- ・ キッコーマン株式会社●
- ・ コアレックス三栄株式会社●
- ・ 麒麟麦酒株式会社 横浜工場●
- ・ 協同乳業株式会社 千葉工場●
- ・ グリコマニュファクチャリング
ジャパン株式会社 千葉工場●
- ・ 京葉ユーティリティ株式会社●
- ・ 合同会社オフショアテクノロジーズ●
- ・ 新東日本精糖株式会社●
- ・ 住友化学株式会社千葉工場袖ヶ浦地区●
- ・ セイコーインスツル株式会社
高塚事業所●
- ・ セントラル硝子株式会社 川崎工場●
- ・ 北海製罐株式会社 岩槻工場●
- ・ 太平洋製糖株式会社●
- ・ ダイワ化成株式会社 大宮工場●
- ・ 宝酒造株式会社松戸工場●
- ・ 電源開発株式会社 磯子火力発電所●
- ・ 東亜建設工業株式会社●
- ・ 東亜合成株式会社 川崎工場●★

- ・ 東亜合成株式会社 横浜工場●
- ・ 東亜石油株式会社京浜製油所●
- ・ 東京ガス株式会社 扇島 LNG 基地●
- ・ 東京ガス株式会社 袖ヶ浦 LNG 基地●
- ・ 東京ガス株式会社 根岸 LNG 基地●
- ・ 東芝エネルギーシステムズ株式会社
浜川崎工場●
- ・ 東芝プラントシステム株式会社
川崎事業所●
- ・ 東洋水産株式会社 埼玉工場●
- ・ 日油株式会社 川崎事業所●
- ・ 日鉄溶接工業株式会社●
- ・ 日産自動車株式会社 本牧専用埠頭●
- ・ 日産自動車株式会社 横浜工場●
- ・ 日本合成樹脂株式会社●
- ・ 日本製紙クレシア株式会社 東京工場●
- ・ 日本製鉄株式会社技術開発本部●★
- ・ 日本製鉄株式会社東日本製鉄所
君津地区●
- ・ 日本ゼオン株式会社 川崎工場●
- ・ 日本乳化剤株式会社川崎工場●
- ・ 日本冶金工業株式会社 川崎製造所●
- ・ 三菱ケミカル株式会社 鶴見工場●
- ・ 森永乳業株式会社 東京多摩工場●★
- ・ 雪印メグミルク株式会社 野田工場●
- ・ ユーロフィン日本環境株式会社●

<市民団体など：4 団体>

(内訳：水質調査 3 団体 生物調査 2 団体 環境啓発イベント 2 団体)

- ・ NPO 法人
ふるさと東京を考える実行委員会●●★
- ・ NPO 法人海辺つくり研究会●
- ・ 大田区環境マイスターの会◆
- ・ 川はともだち●★

<大学・研究機関など：2 機関>

(内訳：水質調査 2 機関 生物調査 0 機関 環境啓発イベント 0 機関)

- ・ 公益財団法人日本海事科学振興財団
船の科学館●
- ・ 国立研究開発法人 国立環境研究所
地域環境保全領域 海域環境研究室●

<地方公共団体：36 団体> (本項目のみ全国地方公共団体コード順)

(内訳：水質調査 36 団体 生物調査 4 団体 環境啓発イベント 1 団体)

- ・ 埼玉県●
- ・ さいたま市環境局●
- ・ 川越市●
- ・ 熊谷市●
- ・ 川口市●
- ・ 所沢市●
- ・ 春日部市●
- ・ 狭山市●
- ・ 草加市●
- ・ 越谷市●
- ・ 千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所●
- ・ 千葉県環境生活部水質保全課●
- ・ 千葉県●
- ・ 市川市生活環境保全課●
- ・ 市原市環境管理課●
- ・ 習志野市環境政策課●
- ・ 浦安市環境保全課●◆
- ・ 木更津市環境政策課●
- ・ 袖ヶ浦市環境管理課●
- ・ 東京都●◆
- ・ 中央区●

- ・ 台東区●★
- ・ 大田区●◆
- ・ 北区●
- ・ 板橋区●◆
- ・ 八王子市●
- ・ 神奈川県水産技
- 術センター●
- ・ 神奈川県●
- ・ 横浜市港湾局●
- ・ 横浜市環境創造局●
- ・ 川崎市●
- ・ 横須賀市●
- ・ 船橋市環境保全課●
- ・ 船橋市下水道施設課●
- ・ 松戸市金ヶ作終
- 未処理場●
- ・ 松戸市環境保全課●

<国：11 機関>

(内訳：水質調査 10 機関 生物調査 4 機関 環境啓発イベント 1 機関)

- ・ 海上保安庁第三管区海上保安本部●
- ・ 関東地方整備局 荒川下流河川事務所●
- ・ 関東地方整備局 荒川上流河川事務所●
- ・ 関東地方整備局 江戸川河川事務所●
- ・ 関東地方整備局 港湾空港部●◆
- ・ 関東地方整備局 京浜河川事務所●
- ・ 関東地方整備局 京浜港湾事務所●
- ・ 関東地方整備局 千葉港湾事務所●
- ・ 関東地方整備局 東京空港整備事務所●◆
- ・ 関東地方整備局 東京港湾事務所◆
- ・ 関東地方整備局 横浜港湾空港技術調査事務所●◆★

令和 5 年度 生物調査一覧 (実施日順・8 月 1 日現在)

調査地点又は海域	調査予定時期	調査内容	主催者
多摩川河口域	7 月 4 日, 7 月 31 日	干潟の生物調査ほか	大田区環境マイスターの会
石神井川 2 地点	7 月～8 月	河川調査	板橋区
① 東京都内湾 ② 都内湾環境基準地点 8 地点ほか	① 8 月～9 月 ② 8 月 1, 2 日	① 底生生物、魚類 (稚魚、成魚)、鳥類 ② 動植物プランクトン (上位 10 種)	東京都
多摩川、呑川、内川	8 月 1 日～3 日	生物調査	大田区
人工干潟「潮騒の渚」 (横浜港内港地区)	8 月上旬	外来海洋生物観察会	関東地方整備局 横浜港湾 空港技術調査事務所
横浜港みなとみらい地区 (臨港パーク潮入り池前)	8 月上旬	潜水目視観察 (藻類、魚介類ほか)	関東地方整備局 港湾空港部
横浜市海の公園	8 月	曳網生物採集	株式会社 横浜八景島

① 東京湾内 6 地点 ② 東京湾内 5 地点	8 月	① 底生生物の種別個体数、主な種の湿重量 ② 底生生物の種別個体数、主な種の湿重量、魚介類の目視観察	関東地方整備局 東京空港整備事務所
三番瀬	8 月	干潟調査	浦安市 環境保全課
葛西海浜公園西なぎさ	8 月	二枚貝生息調査	NPO 法人ふるさと東京を考える実行委員会
養老川河口	8 月～9 月	干潟調査	関東地方整備局 東京港湾事務所

令和5年度 環境啓発活動等のイベント一覧（実施日順・8月1日現在）

開催場所	実施日	イベント名（活動内容）	主催者
製造所内の各部署	6月	製造所環境月間の取り組み	旭化成株式会社 川崎製造所 環境安全部
富津市下州海岸	6月10日	環境月間特別清掃活動（富津海水浴場付近の清掃）	日本製鉄株式会社 技術開発本部 安全環境防災室
株式会社日本触媒 川崎製造所 浮島工場、千鳥工場	6月13日	環境大会	株式会社日本触媒 川崎製造所 浮島工場、千鳥工場
柳瀬川・空堀川流域	7月15日	空堀川クリーンアップ	空堀川を考える会
葛西海浜公園西なぎさ	① 7月16日 ～8月27日 ② ①のうち 日祝日	①海水浴体験 ②里海まつり	NPO 法人ふるさと東京を考える実行委員会

調布市内の多摩川（五本松公園付近）	7月22日、8月5日	多摩川の魚観察会	調布市環境政策課（調布市多摩川自然情報館）
人工干潟「潮騒の渚」（横浜港湾空港技術調査事務所内）	① 7月31日（予定） ② 8月2日（予定）	① 江戸前アサリわくわく調査 ② 横浜の海はいま？～ハマにたどり着いた見知らぬ生きものたち～（外来海洋生物観察会）	横浜港湾空港技術調査事務所
東亜合成株式会社 川崎工場	8月	構内一斉清掃	東亜合成株式会社 川崎工場 品質保証・環境保安課
台東区生涯学習センター	11月18日、19日	環境フェスタたいとう 2023	台東区環境清掃部環境課
未定	未定	未定	川はともだち